

令和2年3月19日

三田市長 森 哲男 様

ウッディタウン地区連合自治会

会長 

「再生資源集団回収運動奨励金の見直しについての要望書」

平素は自治会活動にご理解、ご尽力を賜り誠にありがとうございます。

早速ですが、三田市の環境政策に則り、各自治会において、ごみの減量化と再生資源化の周知が図られ、ごみの排出量の抑制に大きく繋がってまいりました。また業者との交渉を重ね、拠点回収から戸別回収に移行することが出来ました。

しかしながら、昨年より環境規制を強める中国への古紙の輸出が減り、国内在庫量が増え、価格が大幅に下落しております。

自治会と業者間の古紙買取価格は、令和2年度 3～5円/kg⇒2円/kgまで下がっており、今後は、逆有償（業者にはお金を出して引き取ってもらう）まで考えられております。

また一方では、三田市より「再生資源集団回収運動奨励金」が、当初より半額まで削減され、資源ごみの戸別回収の継続が危うくなっております。

戸別回収が出来なくなれば、可燃ごみとして従来のごみステーション回収へ戻すしかなく、クリーンセンターでの焼却に係る負担も、大幅に増加するものと推察致します。

【ご参考】

★「再生資源集団回収運動奨励金」の推移

平成2年度～平成29年度まで	6円/kg
平成30年度	4.5円/kg
令和元年度	3円/kg

今年度古紙関連の業者引き取り価格が上記の逆有償ともなれば、定着してきた戸別回収から従前のステーション回収へ戻すしかありません。

つきましては、「再生資源集団回収運動奨励金」の見直しをご検討頂き、次年度に予想される逆有償への早期の対応をお願いする所存です。

各自治会が取り組んでまいりました、資源ごみ回収の意識改革がようやく実を結んできた現状を鑑み、ご検討の程よろしくお願い申し上げます。

以上